



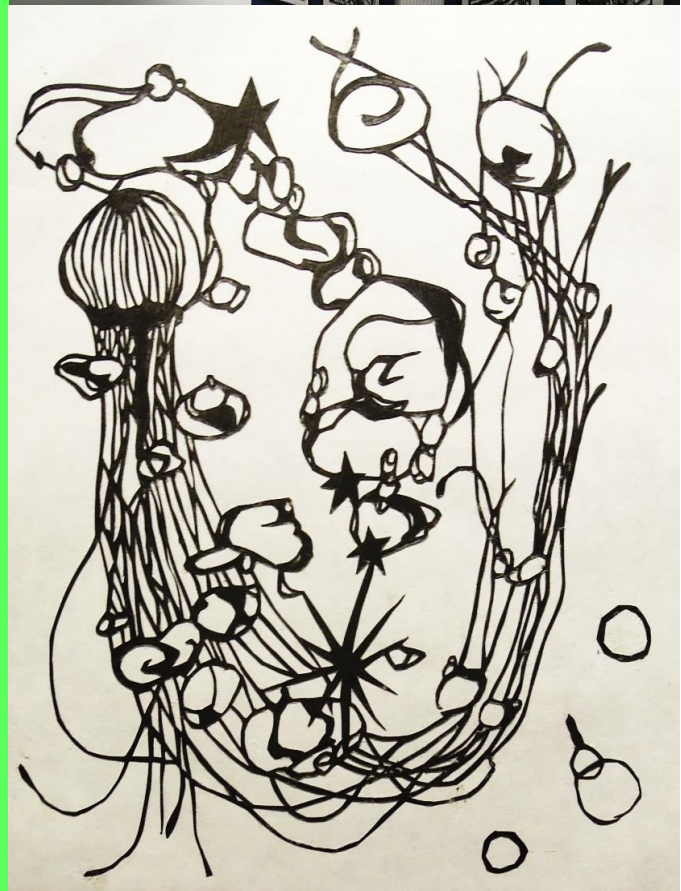
奈良町にぎわいの家・蔵展示 平城西中学校 伏見中学校 切絵作品展

奈良町にぎわい通信

Vol.56

二〇一九・大雪〜冬至

発行
奈良町
にぎわいの家





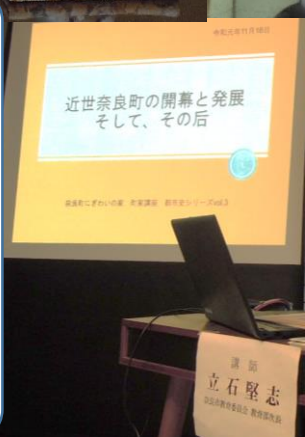
佐久間宗成社中による「四季の茶会」

菊岡統政さんによる「**菊岡家の古文書を読む**」。奈良で一番の老舗漢方薬局、菊岡家の800年の歴史話。興福寺との合戦?!をした弓の名人の話や、驚きのエピソードがいっぱいでした。

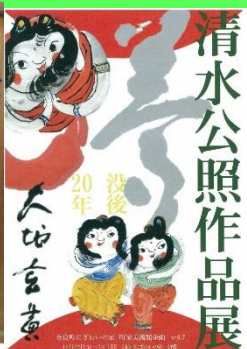
当日は即位祝賀パレードの日。お祝いの心がお道具にも。



立石堅志・奈良市教育委員会教育部次長による「奈良町の都市史シリーズ」の3回目。「**近世奈良町の開幕と発展**」。町の規模は昔から変わらない。奈良町も、町家の風景は時代と共に...



奈良町にぎわいの家 11月のイベントから



町家美術館企画vol.7は、大仏殿昭和大修理に尽力し、書画や陶芸まで、多彩な作品を残した東大寺207,208世別当、清水公照師の作品を没後20年にあたり、町家全館で展示。お客様はその迫力に、長い時間、丁寧に鑑賞されていました。(出品協力...藤野幸三・奈良屋・文珠庵)

磯映美先生による「**ビギナーさんの着物講座**」、盛況でした! 家のタンスにある着物を活かしたい皆さん、楽しく着こなして、是非、ご来館下さい。



華厳

泥仏の数々

「海外のお客様インタビュー」Vol.4 イタリアより



Name バーバラさん&ジョゼッペさん

Country イタリア

Age 55歳 & 51歳

Interview 2020/1/6

(コーディネート 英訳スタッフ 辻雅子)



Q1. 奈良は初めてですか？選んだ理由は？

奈良は初めてです。個人旅行できました。奈良の文化への好奇心があります。ユネスコの世界遺産の情報やオンライン、ガイドブックなどで情報を集めました。

Q2. 奈良のどこが気に入りましたか？

イタリアにも古いものが沢山あり、奈良はとても近い感じがします。古い建物や寺社、歴史の感性に満ちています。

Q3. 当館をどう思いますか？好きなところで写真をとりたい。

昔の人が住んでいたリアルな感じが残っていると思います。特に、仏間の天井や茶室など素晴らしかったです。写真は茶室で。

Q4. これからどこに行きますか？

奈良の後は北海道に行きます。ミラノから来ましたが、スキーが好きで、北海道でのスキーを楽しみにしています。

Q5. お土産は何を買いましたか？

まだ何も買っていません。彼がOKと言ったら？！買います。

Q6. あなたにとって家とは？

居心地がよい場所。私たち、そして猫にとって愛すべきところであること。

ミラノはファッションな町ですが、お二人とも、カジュアルな中にさりげなく、小物もお洒落。(バーバラさんのメガネが素敵！)この後、北海道に行かれるとのことですが、今年は暖冬で雪不足とききます。素敵な日本の冬が体験できますよう。

← 当館の節気ハガキをプレゼント。

(構成・文 おのこまち)

蔵展示 平城西&伏見中学校による 切り絵の世界

今号の表紙に掲載している作品は、10/28-11/17に蔵で開催された、市内の平城西中学校と伏見中学校の切り絵の授業作品展です。どれも力作で、お客様に、とても好評！！若いセンスと技に、皆さん、感嘆していました。以下、感想の一部を紹介します。

- 授業時間内でできる作品が紹介してありましたが、そんな短時間で、きれいな模様ができるなんてびっくり。
- 今を切り取ったようなデザインも面白い。個人的にはスパイダーマンが良かった。
- 私も中学校の時にこんな切り絵を教えて欲しかった。
- まさか中学2年生の作品とは思わずに見ていました。14歳と知って驚きました。クオリティが高い！
- 自分の名前を切り絵にするという発想が面白い。
- 指導する先生の力を感じました。
- 海外のお客様→「美しく素晴らしい！」



シンデレラの馬車のかぼちやは
美味しいよ、
おかしそうか
冬至の夜長

シンデレラの馬車のかぼちやは、
美味しそう。冬至の夜、沢山、
お話を聞いて話して、
夜長を楽しみましょう。

オリジナル節気短歌
喜多隆子(歌人)
節気マーク
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)

事務局だより

2020 大寒

アナログの想像力

事務局長 藤野正文

冬至は、一年の中で最も昼の時間が短く、夜が一番長い日ですね。この日を境に生命が蘇って、運気が上昇するといわれています。冬至が過ぎると少しずつ日が長くなるのを感じるようになります。

奈良町にぎわいの家ではここ数年？の夏の暑さ（酷暑）をとみに感じるとともに、冬の寒さがこたえるようになってきたように思います。でも昔の猿沢池では氷が張りスケートをしていた写真を見る機会がありました。数十年前の奈良は今よりずっと寒かったはずで、そう考えると昔の人は寒さに対する耐力？があり、寒い冬を越す生活の工夫・知恵があったように思います。暑さ、寒さにたいして無防備とでもいつていい日本の木造家屋と工夫を凝らしながら、楽しみながら？日本人はうまく付き合ってきたなあと思います。冬は、衣服で重ね着もそうですが、栄養豊富な体が温まる、血行がよくなる食べ物を食べ、いろいろ・こたつ・火鉢・あなか・カイロを駆使して暖をとっていましたね。



柿や柚子を描いて
にっこり！



「志」という
字、お互い
見て、「うまく
書けた？」

今月の総手紙&書道「体験」

「奈良のつぺ」
で温まる冬...。
奈良の郷土食として
大事にしたいですね。
(当館かまど体験より)



にした断熱空間の役割を果たしています。また、縁側は、一見無駄な空間のようで、陽だまりで暖まる空間、家族でくつろぐ空間、景色を眺める空間など数々の特性をもっています。こんな工夫もこれから生かしていきたいものです。

にぎわい菊模様～秋から冬へ

猛暑を乗り越え、スタッフが丹精込めて育てた菊。玄関や館内で、長い間、目を楽しませてくれました



表彰式の様子(二十軒代表)

第49回平城宮跡菊花大会で
優秀賞をいただきました！

にぎわいの クリスマス

スタッフ手作りの
ツリーとリース！
今年も写真スポットに。



奈良町にぎわい通信vol.57

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書：逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



大雪



冬至

12/7~21

12/22~1/5

新年(にいでし)のさくらの枝に降る雪を
もつとも清き情熱とせむ 前登志夫